

## 第 517 回中央社会保険医療協議会総会の採決の結果について

令和 4 年 3 月 16 日  
中央社会保険医療協議会総会会長  
小塩 隆士

第 517 回中央社会保険医療協議会総会における議題に関する採決の結果は、以下のとおりとなった。

### ○ 新型コロナウイルス感染症の検査に係る保険収載価格の見直し（案）について

中央社会保険医療協議会として承認する。

#### （委員からのご意見）

委員名（敬称略）	ご意見
松本 真人	<p>昨年 12 月の段階で、市場実勢価格を踏まえて保険収載価格を検証した結果、700 点という結論を出したにもかかわらず、激変緩和を延長することは遺憾である。ただし、現下の感染状況や 1,350 点から 850 点へ一定の引下げが行われることを踏まえ、3 カ月間に限定した延長ということで理解する。</p> <p>国民を守り、患者に適切な医療が提供されるために、医療機関及び検査機関において、PCR 検査が適切に実施されることに期待する。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症の検査を含め、検査料等については、市場実勢価格を踏まえた適切な点数としていくために、継続的に実態を把握・検証する必要があると考える。</p>
佐保 昌一	提案については妥当と考える。
末松 則子	本案について異論はありません。
城守 国斗 長島 公之 江澤 和彦	<p>厚生労働省から業界へ強く働きかけが行われた上で、2 月に実施した調査結果に基づき、4 月以降について 850 点と修正いただくことについては了承したい。</p> <p>加えて、7 月以降に 700 点に引き下げる予定とされているが、今回同様、その時の感染状況や医療機関での実施状況を踏まえた上で、医療現場の持ち出しとなるようなことのないような柔軟な対応をしていただきたい。</p> <p>あわせて、今回提案のあった委託検査以外についても、適切に実態把握を行っていただき、必要に応じて迅速・柔軟な対応を求めたい。</p>
林 正純	市場実勢価格を加味して丁寧に見直しをしていくべきと考えます。
永瀬 伸子	市場実勢を踏まえた上で、適切かつ使いやすい価格設定としていただきたい。
中村 洋	国民への説明責任を果たすという観点から、期間限定で点数を引き上げた理由について、もう少し詳しい説明が「見直し案」に記述されていても良かったと思います。